

クラリカに参加しませんか？

蔵前技術士会会長 佐島聡夫（さとりとしお S36 機）

蔵前技術士会の学童向け理科教室、クラリカは昨年度約 1200 人の児童に理科の楽しさを伝えました。今年度は 60 教室を予定しており、一教室平均 25 人とすれば 1500 人に達する見込みです。活動には経費も掛かりますが、東京・神奈川両支部と蔵前技術士会からの助成金、それに日立製作所など外部からの支援で賄っております。

最近の活動で目立つのは、新規テーマ開発の小集団がいくつも生まれたことです。これは紙飛行機やボンボン蒸気船などテーマ毎に有志が集い、教材を試作し原理説明を検討するのです。参加者は模型少年だった昔に帰り、自分達が嬉々として遊んでいるようです。

現役を退き自由な時間ができた方には、この楽しいクラリカに参加しませんか？ 参加すれば次のようなメリットがあるのです。

1) 自分が活性化する

教え方を考えていればボケている暇などありません。昭和 18 年卒の市川先輩も、子供たちの前ではまるで海軍士官に戻ったようです。教える側も子供たちのエネルギーを受け取るのでしょう。

2) 遊び仲間ができる

「知らない連中ばかりだ」と尻込みしないで下さい。仲間に加われれば、専門や卒業年次に関係なく友人・知人が増えていきます。研究会の後で酒でも飲めばあっという間に友達です。

3) 尊厳を維持できる

「人からおじいちゃんと呼ばれた」という怒りの声を耳にしますが、クラリカのメンバーは、理科教育の専門家として丁重に扱われます。お孫さんの通っている学校か児童館で教えれば、家族や近隣の人たちから尊敬されることでしょう。クラリカ制定の名刺も作れます。

4) 配偶者へのサービス

夫の退職後、妻の悩みは「主人が毎日家にいること」だそうです。月に数日でも余分に外出すれば、奥様は間違いなく喜び、その分やさしくなることでしょう。(笑)

5) 社会に貢献できる

私が入学したとき、「君たちは国民の税金で勉強させてもらうのだ」と学長が訓話されたのを覚えています。税金で習得した知識を活用し、この世にいる間、子供達に理科の楽しさを伝えるのは、大いなる社会貢献ではありませんか。

この一文を読み「よし俺も」と思われた方は、クラリカ代表の田中満生 (S37 化工、TEL.0466-28-7189, E メール tanaka-m@kuramae.ne.jp) にご連絡ください。「その前に見学を」という方は教室開催予定を <http://krpe.net/kurarikakeikaku2007.html> でチェックし、田中代表にお申込みください。



飛行機の原理を説明する講師（大澤達哉：S35 機）



教室準備中のクラリカ会員（左から小林正延：S41 機、遠藤信明：S42 建）



ボンボン蒸気船研究会